



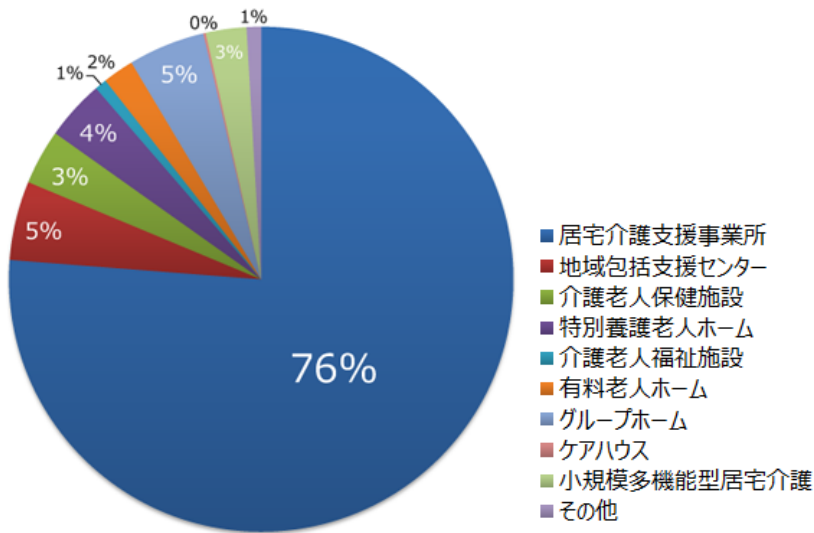
651名のケアマネがアンケートに回答

全国のケアマネはこう考える！ 2015年度の介護保険制度改正の影響

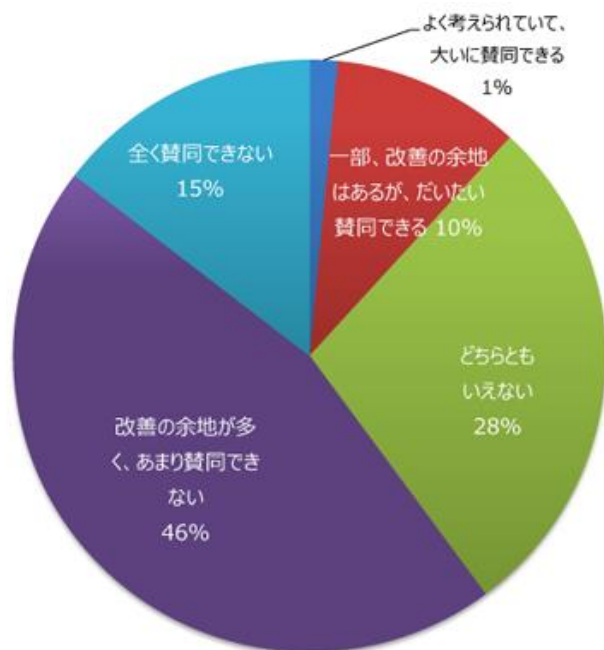


今年度は、介護保険法の改正と介護報酬の改定が同時に行われる、ダブル改正の年となりました。施行から早くも2ヶ月近くが経ち、徐々にその影響も表れてきたところではないでしょうか。今回は番外編として、ケアマネジメント・オンラインの会員ケアマネジャーに行った、改正に関するアンケート結果をご紹介します。調査期間は2015年5月27日～6月3日の8日間で、651名の現職のケアマネジャーから有効回答が得られました。

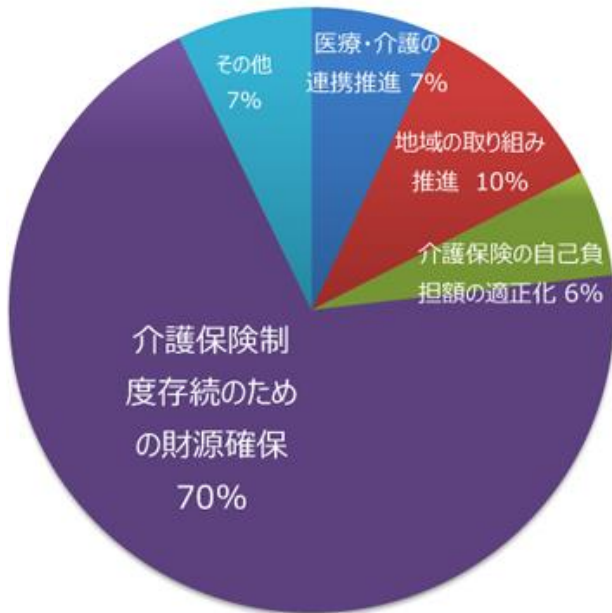
[Q1]現在のお勤め先はどちらですか。(n=651)



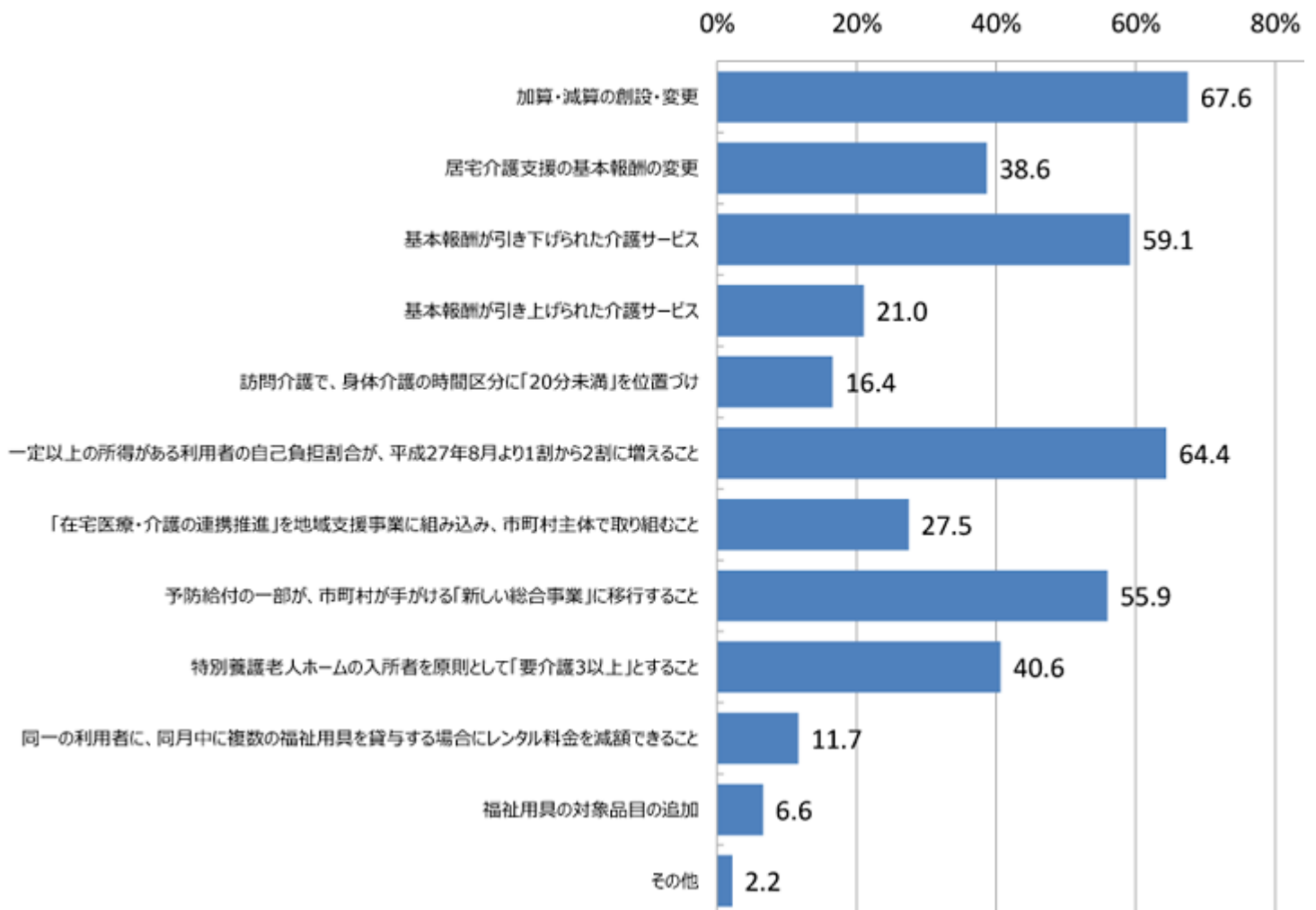
[Q2]今回の介護保険法改正・報酬改定を、ケアマネジャーとしてどう考えていますか。最も近いものを1つ選んでください。(n=651)



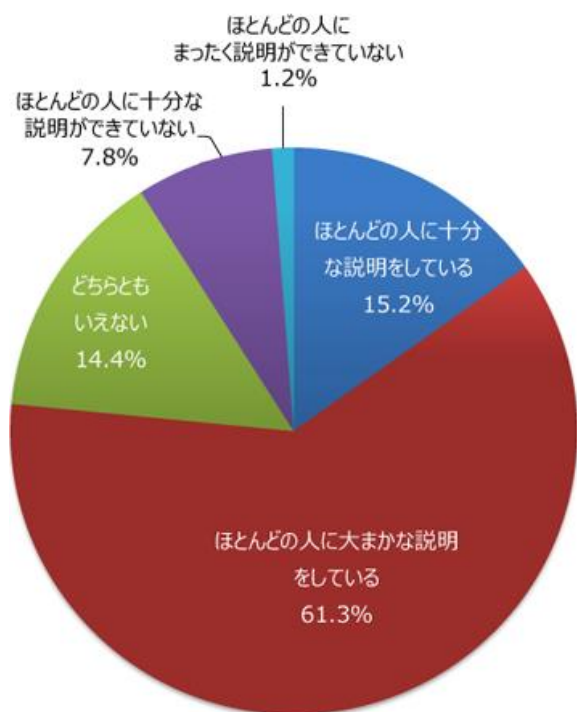
[Q3] 今回の介護保険改正は、どこに主眼が置かれたと思いますか。(n=651)



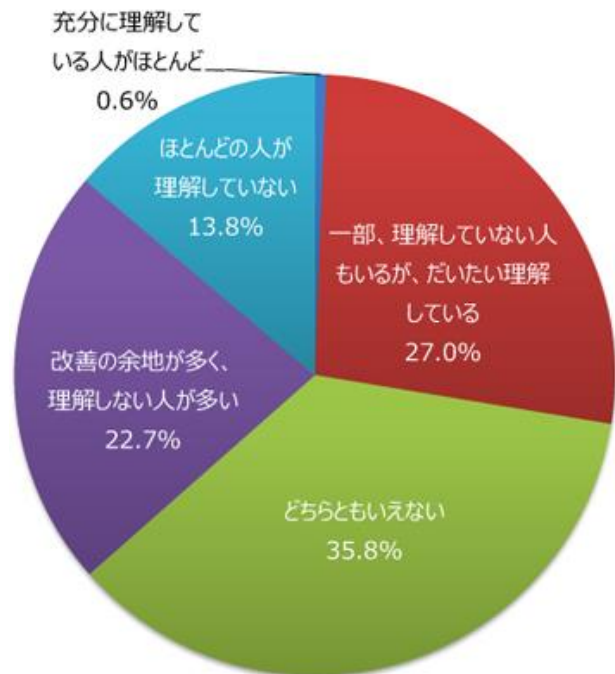
[Q4] 今回の介護保険改正で、ケアマネジャーとして注目した内容は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。(n=651)



[Q5] 今回の介護保険改正について、ご利用者やご家族には説明をしていますか。最も近いものを1つ選んでください。
(n=651)



[Q6] 今回の介護保険改正を、ご利用者やご家族は、どのように捉えていますか。最も近いものを1つ選んでください。
(n=651)



[

Q7]現在担当している利用者数を教えてください。

平均 28.3 名

(最小値 1、最大値 120、中央値 30)

Q8]今回の報酬改定により、自己負担が増えたご利用者は何人いますか。

平均 7.7 名

(最小値 0、最大値 100、中央値 3)

Q9]今回の報酬改定により、自己負担が減った利用者は何人いますか。

平均 11.9 名

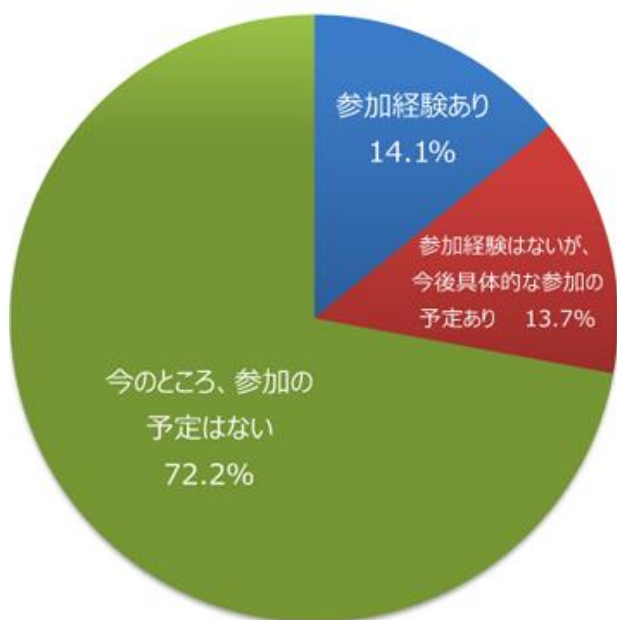
(最小値 0、最大値 100、中央値 8)

Q10]今回の報酬改定により、ケアプランを見直した利用者は何人いますか。

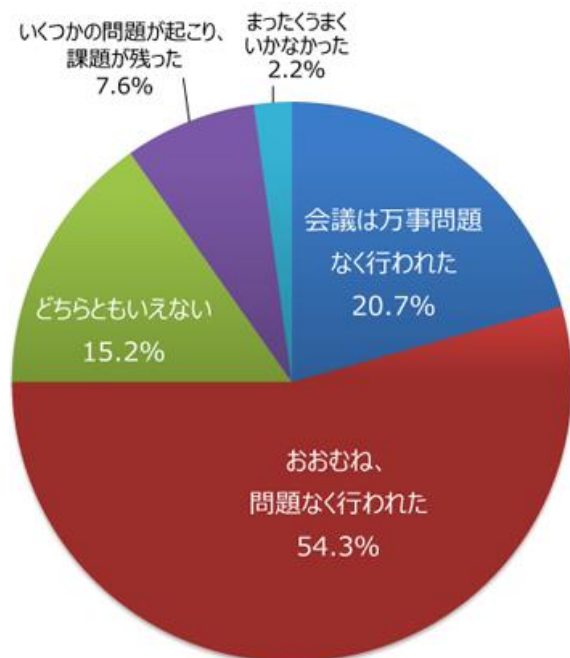
平均値 3.3 名

(最小値 0、最大値 50、中央値 0)

Q11]訪問リハ、通所リハにおけるリハビリテーションマネジメント(II)加算の要件に設けられた「リハビリテーション会議」に参加したことはありますか。(n=651)



[Q11-1] 「リハビリテーション会議」は問題なく行われましたか。(n=92)



[

Q11-2] 「リハビリテーション会議」がうまくいかなかった理由を自由にご記入ください。(一部抜粋)

- 主治医から「自分は見ているわけではないので…」という説明があり、家族は戸惑った。
- 医師、理学療法士など条件にあてはまる人は参加していたが、医師が本人の状態を十分に把握しておらず、誤解したまま会議が流れていった。家族が忙しく、毎回参加されていないので、自宅内の状況把握ができていないのは私ケアマネだけであり、会議や計画に十分に把握されていない。形式だけ、中身のない会議だったと大変不満に思っている。
- 多職種連携であるのに連携できていないこと。リハ職のみ負担が大きくなっていること。利用者の真の自立に向けての話し合いになっていないこと。リハ会議ができたから出ているだけという状況になっていて、介護職もリハ職も仕事の負担感のみが漂っているし、ケアマネとしても負担感もあり、サービス担当者会議とどう違いを出すかがわからない。
- 利用者に意義が伝わらず負担に感じ、事業所を変更することになった。

[Q12] 今回の介護保険改正全般について、どのように感じていますか。自由にご記入ください。(一部抜粋)

- 全体的に報酬が下がり対策に苦慮しています。処遇改善加算は上がったものの、各加算については条件が困難なものも多く、加算とるための人材が確保できない状態です。
- 財政面から見れば、やむを得ないと思うが、現場は厳しい。よりよいプラン作成を心がけても、減算を避けるために事業所の変更をしなければならず、矛盾している。
- 特定事業所集中減算 80%になったことは私としては賛成です。ケアが充実している事業所の利用が制限されることにはなりますが、全体をみてケアの質が向上することを期待しています。
- 事業所には申し訳ないが、単価が下がったおかげで、プランを追加できた利用者がいて助かっている。
- 在宅介護事業者が厳しくなり、閉鎖に至ったところも出てきている。小さくても評価が高い事業者が経営困難になるのではないかと心配される。また、要支援者で通所を楽しみにしている方たちが、今後どうなるのか保険者からの説明もなく、包括もわからなく、不安が大きくなっている。受け皿がないまま、閉じこもるご利用者が増えるのではないかと心配される。
- 事業所の経営的には厳しい内容だったと思いますが、それにより各事業所の特色が更に活かせるようになり、個人的には利用者の選択の幅が広がったとも見て取れると思いました。
- 全体的に単位数が下がり、限度額オーバーしていた方が、オーバー分がなくなった月もあり、年金内で支払で

きると喜んでおりました。重度でサービスが多く利用している方には今回の報酬改定は良かったと思っております。

- 利用者負担金が8月より収入や預金額により2割になる。タンス預金も対象となり、どう調べていくものか、また利用者にご説明していくのかケアマネとしては困りごとである。

[Q13] 今回の介護保険改正について、ご利用者やご家族のご意見を、自由にご記入ください。(一部抜粋)

- 要支援の方達が今後自分たちの支援はどうなっていくのかと不安に思っている人が多い。
- 2割負担の対象者からサービスの質の向上を求められる。
- 「改正もそうだが、介護保険制度自体が複雑でよくわからない」との意見もあり、介護保険制度を周知するにはまだまだ時間がかかると感じている。
- 支援の切り離しイメージが強く、移行を不安に思っている人が多い。またデイの報酬減額により、ほとんどのデイで利用回数の制限が出ており、今まで行っていた回数を行けない人もいて、不満を言っている。
- 8月から2割負担になる利用者は、利用回数を減らそうか、考えているとのこと。特養入所を望んでいた要介護2程度の利用者家族は困っている。

ケアマネジメントオンラインより